

スポーツで地域に力を

第一学院
高校 BB秋田社長が講演

「スポーツによる地域活性化」をテーマにした講座が2

日、秋田市広面の第一学院高校秋田キャンパス（山崎聡キヤンパス長、101人）で開かれた。1〜3年生23人が、サッカー明治安田J3クラブブリッツ秋田（BB秋田）の岩瀬浩介社長による講演やアイスカッションを通じ、スポーツと地域活性化の在り方を考えた。

岩瀬社長は講演で、2009年に当時J1だったモンテディオ山形と浦和レッズの試合が山形県で行われた際、浦和のサポーター約3千人が応援に訪れ、宿泊や食事などで約3億円の経済効果があったとの試算を紹介。「サッカーチームは地域経済に貢献できる。住民に地元への誇りが生

まれたり、選手に憧れて将来をサッカークラブ選手になるとい夢を持つ子どもがいたりもする」と強調した。



講演後、生徒はグループ別に、スポーツを通じた地域活性化の方策を話し合った。「スタジアム周辺のクリーンアップ」や「高齢者と共に早朝にラジオ体操する」など、付箋に書き出したアイデアを模造紙にアイデアを並べ提案を考え、生徒と岩瀬社長

（左から3人目）

き出したアイデアを模造紙に並べ、実現性や効果を吟味。グループごとに提案を一つ決め発表した。

講座には同キャンパスの3年生で、BB秋田アカデミーからトップチームへ初めて昇格した小野敬輔さん(18)も参加した。

1年生の亀田みさとさん(16)は「スポーツが地域の役に立つという考え方は意外だった。経済への貢献を考える中で、自分が社会の一員だということを実感した」と話した。（本多恒顕）